

<特に期待する資質について>

- 四答企業の約8割が「主体性」、「チームワーク・リーダーシップ・協調性」を挙げた。変化の激しい人生100年時代を迎え、「学び続ける力」と回答した企業が4割近い。

<特に期待する能力について>

- 「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「創造力」が上位。いずれもSociety5.0において求められる能力である。

企業が求める人材

経団連は、企業の大卒等新卒者の採用選考活動を把握するために「新卒採用に関するアンケート調査」を毎年実施しています。そのアンケートの中の「**選考にあたって特に重視するもの**」の順位は次のようになっています。(2018年度)

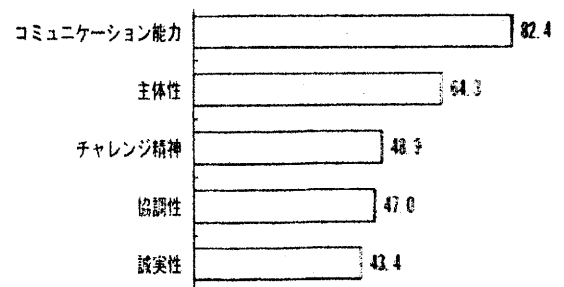
1位 「コミュニケーション能力」82.4%(16年連続)

2位 「主体性」64.3%(10年連続)

3位 「チャレンジ精神」58.9%(3年連続)

4位 「協調性」47.0%

5位 「誠実性」43.4%



コミュニケーション能力が断トツで、しかも16年連続という結果・・・いかがでしょうか。

コミュニケーション能力の比重が重いのは、**コミュニケーション不足やコミュニケーションを苦手としていることによる企業としての不利益が大きい**ということの表れかもしれません。**面接官の質問をしっかり聞き、自分のことばで適切に答える能力が弱ってきている**とも言えるでしょう。確かに今の子どもを取り巻く環境は、ネット、スマホ・・・一言も会話をせずに済ますことができます。

コミュニケーションをしないでいい世の中で今の子どもたちは育っている
ということを私たちは認識する必要があります。

